

鴨都波1号墳の神人龍虎画像鏡

鴨都波1号墳からは、棺内から1面、棺外から3面の合計4面、三角縁神人龍虎画像鏡が出土しています。本展で並べているものは棺外鏡のうち1面で、外向きのギザギザ模様部分の断面形態が丸みをもって高くなっており、カマボコ状を呈しているという、珍しい作りになっています。

この鏡自体には年号が記されていないので、これ自体から年代を推定することはできません。そこで交差年代法の考えを使いましょう。

中国、湖北省の墳墓からは、同様の作りをもつ唐草文鏡が出土しており、こちらの鏡には280年の銘が刻まれています。同じ作りが時期の一致とみれば、鴨都波1号墳の鏡も280年ごろの製作とみなせます。

ただし、鴨都波1号墳の土器は、4世紀前半から中頃にかけてのものです。鏡の時期とは少しタイムラグがあります。